SONY

4-544-630-03(1)

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

4544630003 (1)

ZS-E80

保証書　持込修理

品名	パーソナルオーディオシステム
型名	ZS-E80
お買上げ日	平成・西暦　年　月　日

本書は、本書記載内容(右面記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル：0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599
ホームページ：http://www.sony.jp/support/
ソニーマーケティング株式会社
東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から　1年
お客様住所 お名前	電話　-　-　　様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。
※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
(1)本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

＊本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。　T05-4

操作説明のボタン表記について

本書では、本体のボタンを基本に操作を説明します。特に記載がない場合は、本体とリモコンのどちらのボタンでも操作できます。どちらか一方のボタン操作に限定される場合は、「リモコンの+10ボタン」、「本体の電源ボタン」のように表記します。

準備をする

本機は家庭用電源、または乾電池(別売)のいずれかを選んでお使いになれます。

家庭用電源を使うとき

付属の電源コードを本機のAC IN端子へ差し込んだあと(❶)、壁のコンセントへ差し込んでください(❷)。

ちょっと一言
- 「STANDBY」が表示されている状態では、本機の電源は入っていません。

乾電池を使うとき

電池ぶたを押しながら(❶)手前に引いて(❷)、乾電池を入れてください。

単3形乾電池6本(別売)を入れてください。乾電池でお使いになるときは、電源コードは抜いてください。

ご注意
- 本機をマンガン乾電池でお使いの場合、使用時間が著しく短くなることがあります。アルカリ乾電池でお使いください。
- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。ふたの中でCDがずれて傷つくおそれがあります。

ちょっと一言
- 家庭用電源に接続しているとき、乾電池は入れてあっても使われません。

リモコンに乾電池を入れる

単4形乾電池2本(付属)を入れてください。

乾電池の交換について

操作できる距離が短くなってきたら、すべて新しい電池に交換してください。

電源を入れる

電源ボタンを押して電源を入れてください。電源／電池ランプが点灯します。

電源を切るには

もう一度電源ボタンを押す。電源／電池ランプが消灯します。

ご注意
- 乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。
- **乾電池のみで使用中、電源／電池ランプが暗くなったり、消えたら電池の寿命です。すべて新しい電池に交換してください。電源／電池ランプが消えるとCDプレーヤーが使えなくなりますが、ラジオはしばらくの間使うことができます。**

ちょっと一言
- 電源ボタンのほかに、►II(CD再生／一時停止)ボタン、FM/AMボタン、お気に入りラジオ局ボタン、音声入力ボタンでも電源を入れることができます。
- これらのボタンで電源を入れた場合は、電源が入ると同時に選んだ音源に切り換わります。

CDを聞く

次のCDを再生できます。
- 市販のCD(CD-DA)
- CD-R/CD-RW(CD-DAフォーマットで記録)
- CD-R/CD-RW(MP3/WMAオーディオファイルをデータ形式で記録)

DVD、BD(ブルーレイディスク)は再生できません。

1 開く⟶スイッチをスライドさせて、CDぶたを開ける。

2 ディスクを入れる。

3 CDぶたを閉める。

ちょっと一言
- ディスクによっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- ラジオまたは音声入力を使用中にディスクを入れた場合は、手順4のあとで読み込みが始まります。

4 ►II(CD再生／一時停止)ボタンを押す。

再生経過時間(音楽CDの場合)

CD再生/一時停止

再生が始まります。

ご注意
- CD再生中はCDぶたを開けないでください。

5 音量+または−ボタンを押して、音量を調節する。

VOL　音量

再生／選曲についてのその他の基本操作

曲送り／曲戻ししたいとき

►►Iボタン(次の曲)またはI◄◄ボタン(曲の先頭へ戻す)を短く押す。

曲を聞きながら再生位置を探したいとき

再生中に►►IボタンまたはI◄◄ボタンを押し続け、聞きたい部分で指を離す。

表示窓の再生時間を見ながら再生位置を探したいとき

再生中または一時停止中に►►IボタンまたはI◄◄ボタンを押し続け、聞きたい部分で指を離す。

再生を一時停止したいとき

►II(CD再生／一時停止)ボタンを押す。もう1度押すと再生が始まります。

再生を止めたいとき

■(停止)ボタンを押す。

MP3/WMAディスクのフォルダーを選択したいとき

+または−ボタンを押す。

表示窓の情報切り換え操作

再生している曲の曲番を調べたいとき

表示切換ボタンを押す。

音楽CDの停止中の表示を切り換えたいとき

総再生時間表示のときに表示切換ボタンを押す。総曲数表示に切り換わります。

音楽CDの収録曲数や再生時間を調べたいとき

再生中には2回、停止中には1回、■(停止)ボタンを押す。

MP3/WMAディスクのフォルダー数や曲数を調べたいとき

再生中には2回、停止中には1回、■(停止)ボタンを押す。

総フォルダー数　総曲数

ちょっと一言
- ■(停止)ボタンで再生を停止し、次に►II(CD再生／一時停止)ボタンを押すと、前回再生を停止した位置の続きから再生されます。停止したあと、もう一度■(停止)ボタンを押すと、次回は1曲目の始めから再生されます。

CD 再生モードを切り換えて聞く

繰り返し聞く(リピート再生)

CDに収録されている曲を1曲または全曲繰り返して聞くことができます。

1 停止中に本体のモード切換ボタンを押して、リピートの種類を設定する。

リピートの種類	説明
⟲1	1曲だけ繰り返します。►►IまたはI◄◄ボタンを押して、曲番を選んでください。
⟲	全曲を繰り返します。
⟲🗀*1	MP3ディスクまたはWMAディスクの場合に、ディスク上のフォルダーを指定し、フォルダー内の全曲を繰り返して再生します。🗀+または−ボタンを押して、フォルダーを選んでください。
PGM ⟲	プログラム登録した曲を繰り返します。詳しくは「聞きたい曲を好きな順に聞く」をご覧ください。

＊1 CD-DAには対応していません。
＊2 指定したフォルダー内の全曲を再生します。

2 ►II(CD再生／一時停止)ボタンを押す。

リピート再生が始まります。

リピート再生をやめるには

停止中に「⟲」の表示が消えるまで、本体のモード切換ボタンを繰り返し押す。

ご注意
- 再生中または一時停止中にリピート再生の設定はできません。

順不同に聞く(シャッフル再生)

CDに収録されている全曲を順不同に聞くことができます。

1 停止中に本体のモード切換ボタンを押して、「(シャッフル再生)」を表示させる。

2 ►II(CD再生／一時停止)ボタンを押す。

シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめるには

停止中に「」の表示が消えるまで、本体のモード切換ボタンを繰り返し押す。

ご注意
- 再生中または一時停止中にシャッフル再生の設定はできません。

ちょっと一言
- シャッフル再生のときは、一度再生を停止し、次に►II(CD再生／一時停止)ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)

聞きたい曲を聞きたい順に25曲までプログラム登録することができます。

1 停止中に本体のモード切換ボタンを押して、「PGM(プログラム再生)」を表示させる。

2 ►►IまたはI◄◄ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押す。

3 ►II(CD再生／一時停止)ボタンを押す。

引き続き曲を登録する場合は、同じ操作を繰り返します。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

停止中に「PGM」の表示が消えるまで、本体のモード切換ボタンを繰り返し押す。

番号入力で曲を選ぶには

「リモコンの数字ボタンを使ってCDの曲番やラジオの登録局番号を入力する(ダイレクト入力)」をご覧ください。

プログラム再生を繰り返すには(プログラムリピート再生)

停止中に本体のモード切換ボタンを1回押し、「PGM」と「⟲」を表示させる。

プログラムを削除するには

再生前の停止状態のときには1回、再生中の場合には2回、■(停止)ボタンを押す。

そのとき登録されていたプログラムの内容が消えて「noSTEP」と表示されます。

プログラムの登録情報を確認するには

停止中に表示切換ボタン(リモコンでは決定ボタン)を押す。押すたびに、最後に登録した曲の曲番と登録されている曲数が交互に表示されます。

最後に登録した曲の曲番(音楽CDの場合)　登録されている曲数

現在のプログラムの最後に新たに曲番を追加するには

停止中に►►IまたはI◄◄ボタンを押して曲番を選び、決定ボタンを押す。

ご注意
- 再生中または一時停止中にプログラム再生の設定はできません。
- CDぶたを開けると、そのとき登録されていたプログラムの内容は消えます。

ちょっと一言
- プログラム再生が終わっても、登録したプログラムは残っています。►II(CD再生／一時停止)ボタンを押すと、同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- プログラム再生とプログラムリピート再生を切り換えてもプログラムは同じです。どちらのときもプログラムを登録できます。
- 26曲目を選ぼうとすると、「FULL」が表示されて登録できません。

CD 語学学習に便利な機能を使う

再生位置を進める／戻す(イージーサーチ機能)

CD再生中にイージーサーチボタンを押すことで、音声を戻して聞きなおしたり、進めて聞くことができます。

イージーサーチボタンを押して、再生位置を前後に移動する。

ご注意
- CDの停止または一時停止中は、イージーサーチは使えません。
- 最後の曲で残り再生時間が10秒未満の場合、イージーサーチ+10秒ボタンを押すと、先頭の曲に戻ります。

CDの再生速度を変更する(デジタルピッチコントロール機能)

語学学習などで再生速度を調節したいときに使用します。
CDの再生速度は0.5倍速から1.5倍速の11段階で変更できます。
ただし、WMAディスクの場合は0.5倍速から1.2倍速の8段階です。

再生速度(倍速)	×0.5	×0.6	×0.7	×0.8	×0.9	×1.0	×1.1	×1.2	×1.3	×1.4	×1.5
表示	−5	−4	−3	−2	−1	0	+1	+2	+3	+4	+5

(遅く)　⇦　(標準)　⇨　(速く)

速度調整ボタンを押して、再生速度を変更する。

リモコンで再生速度をもとに戻すには

速度調整 標準ボタンを押す。

必要な部分だけ繰り返し聞く(A-Bリピート機能)

聞きたい部分の始めと終わりを指定して、繰り返し聞くことができます。

1 再生中に⟲A-Bボタンを押して、A点を指定する。

2 もう一度、⟲A-Bボタンを押して、B点を指定する。

A-Bリピート再生が始まります。

A-Bリピート範囲の指定をやめるには

B点を指定する前に再生ボタンを押します。A点の指定が解除され、通常の再生に戻ります。

A-Bリピート再生をやめるには

A-Bリピート再生中に、⟲A-Bボタンを押す。
A-Bリピート設定が解除され、通常の再生に戻ります。

A-Bリピート再生を停止するには

A-Bリピート再生中に、►II(CD再生／一時停止)ボタンを押す。
A-Bリピートの設定を保持したまま再生が止まります。もう一度►II(CD再生／一時停止)を押すと、A-Bリピート再生が開始します。

サーチ機能を使ってA-BリピートのB点を設定するには

再生中に►►Iボタン(早送り)またはI◄◄ボタン(早戻し)を押し続けて、B点を指定する位置を探すことができます。同様にイージーサーチボタンを押して再生位置を移動し、指定する位置を探すこともできます。

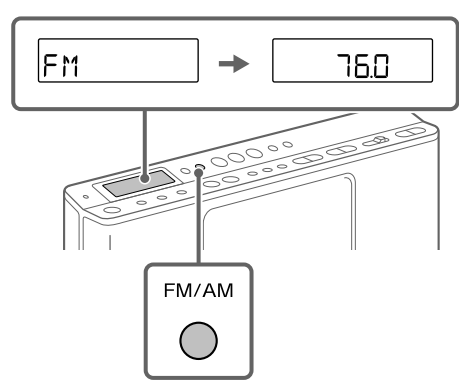
ちょっと一言
- A点より前の位置でもB点に指定できます。再生位置を探して先頭まで移動すると、先頭をB点としてA-Bリピート再生が始まります。

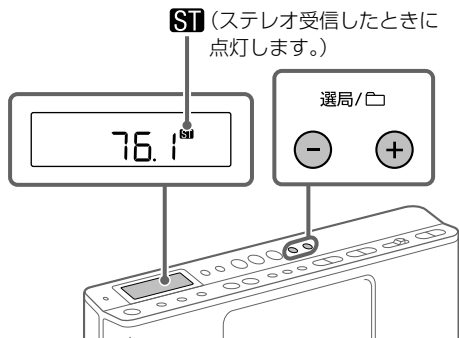
A-Bリピートの範囲を変えるには

A-Bリピート再生中に、⟲A-Bボタンを押して通常の再生に戻してから、手順1と2を行う。

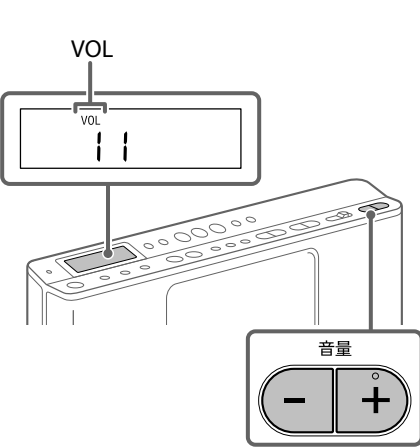
ご注意
- A点を指定したあと、⟲A-Bボタンを押さずにCD-DAトラック(曲や音声データ)またはオーディオファイルの終わりまで再生すると再生が止まり、この位置をB点としてA-Bリピート再生が始まります。

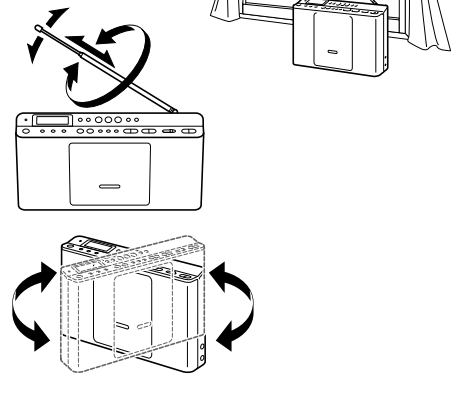
ラジオを聞く

1 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

押すたびにFMとAMが切り換わります。続いて周波数が表示されます。

2 選局＋または－ボタンを押して、周波数を合わせる。

選局＋または－ボタンを押したままにして、数字が動き始めたら指を離します。受信可能な放送局が見つかると、自動的に周波数の数字が止まります。

選局＋または－ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせることもできます。

3 音量＋または－ボタンを押して、音量を調節する。

受信状態を良くするには

窓際など、電波を受信しやすい場所でお使いください。また、受信したい放送に合わせてアンテナを調整してください。

FM放送局

本体のロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。

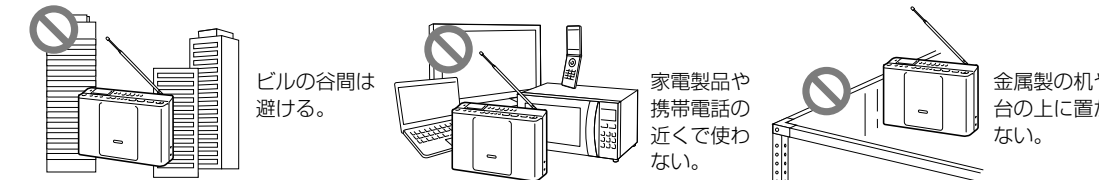
FM放送が聞きづらいときは、本体のモード切換ボタンを押してSTの表示を消し、モノラル受信に切り換えてください。

AM放送局

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

（AMのアンテナは本体に内蔵されています。）

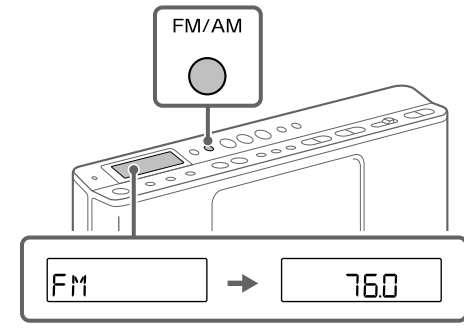
それでも感度が悪いときは

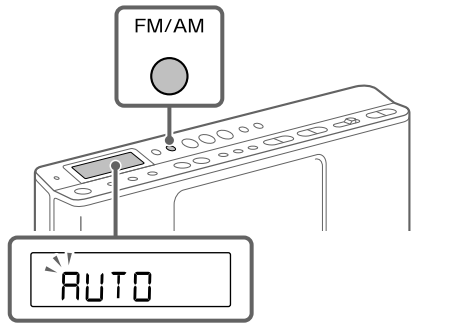
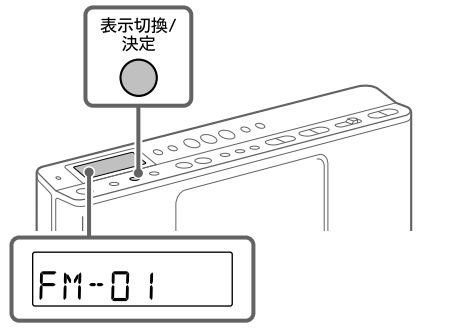
受信する場所を変えてみてください。

ラジオ 放送局の自動登録機能を使う

「ラジオを聞く」の「受信状態を良くするには」をご覧になり、受信状態を良くしてから行ってください。

放送局を登録する

本機が検索して受信状態の良い放送局を自動的に登録します。FMとAMのそれぞれについて手順1から3を行い、FM20局、AM10局で、合計30局まで登録できます。

1 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

押すたびにFMとAMが切り換わります。続いて周波数が表示されます。

2 「AUTO」が点滅するまで、FM/AMボタンを押したままにする。

3 決定ボタンを押して登録を開始する。

登録局番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局を自動的に登録します。もう一度、登録局番号FM-01（またはAM-01）が表示されて放送が流れると完了です。

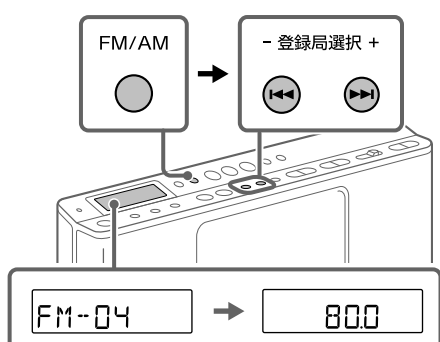
登録された放送局を聞く

登録局番号を選ぶだけで放送を聞くことができます。

FMまたはAMを選んでから、登録局選択＋または－ボタンを押して、聞きたい局の登録局番号を選ぶ。

周波数が表示されます。

番号入力で登録局を選ぶには

「リモコンの数字ボタンを使ってCDの曲番やラジオの登録局番号を入力する（ダイレクト入力）」をご覧ください。

放送局を手動で登録するには

電波が弱く自動登録されなかった放送局があるときや、特定の登録局番号を使いたいときは、手動で放送局を登録することができます。登録済みの登録局番号を選んだ場合は、登録していた放送局は新しい放送局に置き換わります。

1. 登録したい放送局を受信する。
2. 登録局番号が点滅するまで、決定ボタンを押したままにする。
3. 使用したい登録局番号が点滅するまで、登録局選択＋または－ボタンを繰り返し押す。
   リモコンでは、番号を入力して登録局番号を選ぶこともできます（ダイレクト入力）。例えば、登録局番号3の場合は3が点滅するまで数字ボタン3を押したままにします。
   登録局番号20の場合は、＋10ボタンを2度押してから、20が点滅するまで数字ボタン0を押したままにします。ダイレクト入力の場合は手順4が不要です。
4. 決定ボタンを押す。

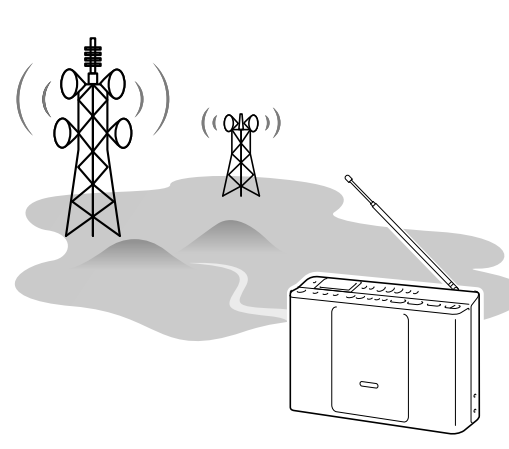
ちょっと一言

- 登録した放送局は、電源コードを抜いたり、乾電池を取り出したりしても保持されます。

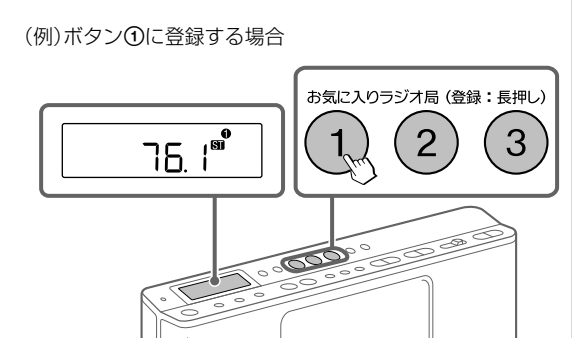
ラジオ 「お気に入りラジオ局」ボタンを使う

よく聞く放送局を「お気に入りラジオ局」ボタンに登録する

よく聞く放送局を登録しておくと、ボタンを押すだけで登録した放送局を聞くことができます。

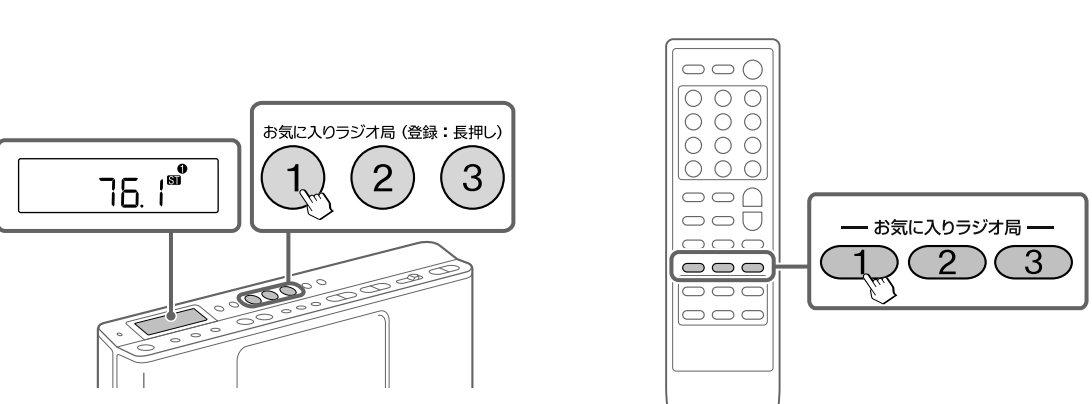
1 登録したい放送局を受信する。

「ラジオを聞く」の手順1 ～ 2をご覧ください。

2 「ピー」と音がするまで、①、②、③のいずれかの「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにする。

（例）ボタン①に登録する場合

「お気に入りラジオ局」ボタンの数字が点灯すると放送局の登録が完了です。

登録した放送局を聞く

「お気に入りラジオ局」ボタンを使うと、電源を切った状態からでもすぐにラジオを聞くことができます。

「お気に入りラジオ局」ボタンを押して、すぐ指を離す。

放送局を受信します。表示窓には選んだ「お気に入りラジオ局」ボタンの数字と、周波数が表示されます。

ご注意

- 「お気に入りラジオ局」ボタンを押して登録した放送局を聞くときは、ボタンを2秒以上押さないでください。2秒以上押すと、登録していた放送局は、現在受信中の放送局に置き換わります。

登録済みのボタンに別の放送局を登録するには

手順1 ～ 2を繰り返す。

新しい放送局を登録すると、同じボタンに登録されていた前の局は消えます。

「お気に入りラジオ局」ボタンには、FM、AMあわせて3局まで登録できます。

外部機器をつないで聞く

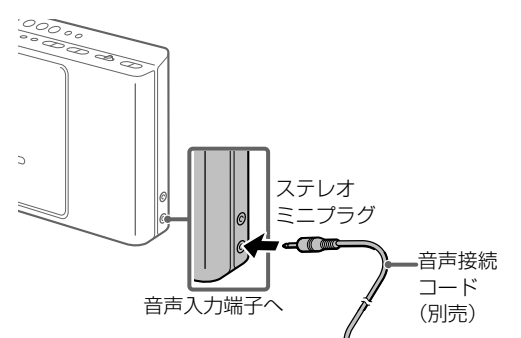
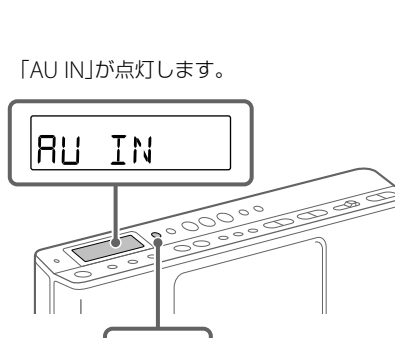
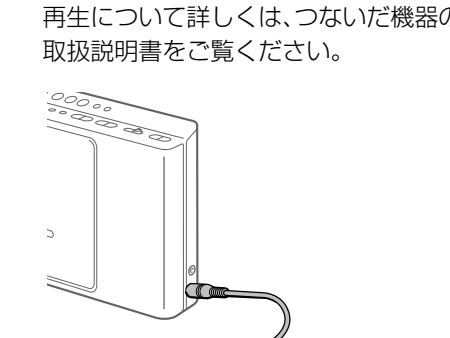
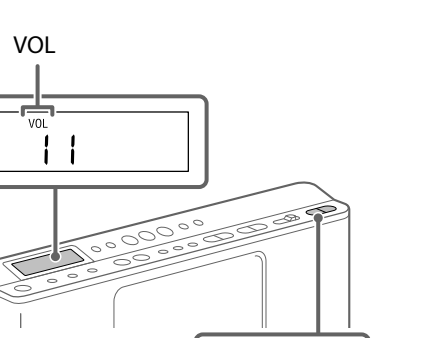
携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を、別売の音声接続コードを使って本機の音声入力端子につなぐことで、本機のスピーカーで音を楽しむことができます。つなぐ前に本機と接続機器の電源を切ってください。

1 外部機器を本体側面の音声入力端子につなぐ。

2 音声入力ボタンを押す。

「AU IN」が点灯します。

3 つないだ機器で再生を始める。

再生について詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量＋または－ボタンを押して、音量を調節する。

ご注意

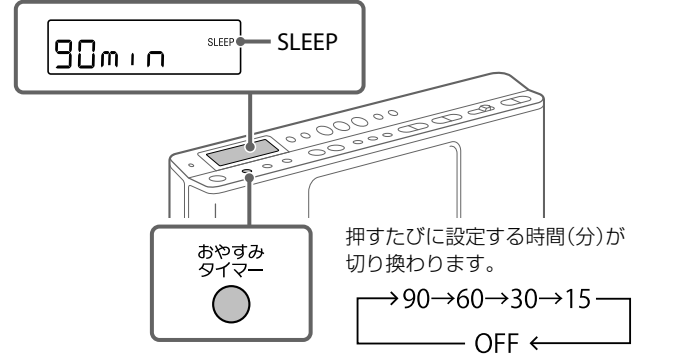
- 接続した外部機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続した外部機器の出力端子がラインアウト端子の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、ヘッドホン端子につないでください。

おやすみタイマーを使う

設定した時間が経過すると、自動的に本体の電源が切れます。

おやすみタイマーボタンを押して、時間を設定する。

押すたびに設定する時間（分）が切り換わります。

→90→60→30→15→OFF

操作しない時間が約4秒経つと、表示窓のライトが消えてタイマーが開始します。タイマーを使わないときはOFFにします。

電源が切れるまでの時間を確認するには

タイマー開始後におやすみタイマーボタンを押す。

ちょっと一言

- タイマー開始後、音量＋／－ボタンなどを押すと、表示窓のライトは約4秒間点灯します。

リモコンの数字ボタンを使ってCDの曲番やラジオの登録局番号を入力する（ダイレクト入力）

（例1）20を入力する場合

＋10ボタンを2回押してから（❶）、数字ボタン0を押す（❷）。

（例2）3を入力する場合

数字ボタン3を押す（❷）。

❶番号が10以上のときは10の位の数だけ+10ボタンを押す。番号が9以下のときは押さずに❷を行う。

❷1の位の数の数字ボタンを押す。

各部のなまえ

本体

ラジオ／CD操作ボタン

* 本体の►II（CD再生／一時停止）ボタン、音量+ボタンには、凸点がついています。操作の目印として、お使いください。

リモコン

送信部

* リモコンの音量+ボタン、数字ボタンの5には、凸点がついています。操作の目印として、お使いください。

1. 電源ボタン
2. 電源／電池ランプ
3. おやすみタイマーボタン
4. 表示窓
5. 音声入力ボタン
6. 開く スイッチ
7. 音量＋＊／－ボタン
8. 音声入力端子
9. AC IN端子
10. CDぶた
11. FM/AMボタン
12. お気に入りラジオ局ボタン
13. 選局／+ボタン 選局／－ボタン
14. イージーサーチ ＋10秒ボタン／イージーサーチ －3秒ボタン
15. 速度調整 遅くボタン／速度調整 速くボタン
16. A-Bボタン
17. 登録局選択＋・►►Iボタン／登録局選択－・I◄◄ ボタン
18. ■（停止）ボタン
19. ►II（CD再生／一時停止）ボタン＊
20. モード切換ボタン
21. 表示切換／決定ボタン
22. 数字ボタン
23. +10ボタン
24. 速度調整 標準ボタン
25. 決定ボタン（本体の表示切換／決定ボタン（21）と同じ機能のボタンです。）

安全のために

機器を本箱や組み立て式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源ボタンを押して電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しないでください。引火のおそれがあります。

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しないでください。

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

電池は、直射日光、火などの過度な熱にさらさないでください。

機銘板は本機の底面に表示されています。

ご注意

- この装置に対し光学機器を使用すると、目の危険を増やすことになります。

レーザーの仕様

- 放射時間：連続
- レーザー出力：44.6 μW 未満

この出力値は、7mm の開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より 200mm の距離で測定したものです。

使用上のご注意

置き場所について

本機やCDなどを次のような場所には置かないでください。

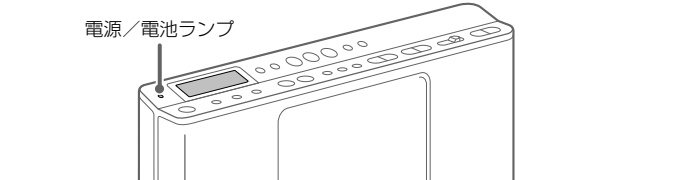
- 磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- テレビの近く
- 窓を閉め切った自動車内（特に夏期）

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石が使われていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  －時計
  －クレジットカードなどの磁気カード
  －カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源／電池ランプが暗くなったり、自動で電源が切れたりします。このようなときは、すべて新しい電池に交換してください。

電源／電池ランプ

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- CD-R/CD-RWについて
  本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）とCD-RW（リライタブル）ディスク、MP3およびWMAフォーマットのオーディオファイルをデータ形式で記録したCD-RとCD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。

* CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般の音楽ディスクに使用されている、音楽収録用の規格です。

- 著作権保護技術付音楽ディスクについて
  本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。
- DualDiscについて
  DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

ヘッドホン（別売）使用時のご注意

- 音量を調節して、耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

MP3/WMAファイルの再生の順番について

MP3ファイルやWMAファイルを記録したディスクでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。

MP3/WMAディスクについてのご注意

- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては、再生が始まるまでに時間がかかったり、再生されない場合もあります。
- 本機は、ディスク上のフォルダーを最大256個まで、ファイルを最大999個まで認識します。
- 本機が認識可能な最大階層レベル（フォルダーレベル）は、8階層までです。
- MP3ファイルやWMAファイルがないフォルダーは飛ばして再生されます。
- MP3ファイルには「.mp3」、WMAファイルには「.wma」の拡張子を付けてください。ただし、MP3/WMA以外のフォーマットのファイルに「.mp3」または「.wma」の拡張子を付けても、そのファイルは正しく認識されません。
- WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されたWMAファイルは再生できません。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下（JEITA*1）
周波数特性	20 Hz ～ 20,000 Hz +1/–2 dB（JEITA*1）
対応ファイルフォーマット	MP3（MPEG 1 Audio Layer-3） ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps, VBR サンプリング周波数：32 kHz 、44.1 kHz、48 kHz WMA ビットレート：48 kbps ～ 192 kbps, VBR サンプリング周波数：32 kHz 、44.1 kHz、48 kHz

ラジオ部

受信周波数	FM: 76.0 MHz ～ 108.0 MHz AM: 531 kHz ～ 1,710 kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

共通部

スピーカー	フルレンジ: 5 cm、コーン型8 Ω、2個
入力端子	音声入力（ステレオミニジャック）1個
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16 Ω ～ 32 Ω
実用最大出力	1.0 W + 1.0 W（JEITA*1/8 Ω）
電源	本体用： 家庭用電源（AC100 V 50 Hz/60 Hz） 単3形乾電池6本使用（DC 9 V）（別売） リモコン用： 単4形乾電池2本使用（DC 3 V）
消費電力	10 W 約0.8 W（電源オフ時）
電池持続時間*2	CD再生時（JEITA*1） 約2時間30分（音量13程度） FM受信時 約15時間（音量17程度）
最大外形寸法	約318 mm × 172 mm × 70 mm （幅 × 高さ × 奥行き） （最大突起部含む）（JEITA*1）
質量	本体 約1.4 kg ご使用時 約1.6 kg（乾電池、CD含む）
付属品	電源コード（1）、リモコン（1）、リモコン用単4形乾電池（2）、安全のために（1）、取扱説明書・保証書（1）

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

*2 ソニー単3形（LR6）アルカリ乾電池使用時。周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Windows Media は米国および／またはその他の国におけるMicrosoft Corporation の登録商標または商標です。
- 本製品にはMicrosoft の知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoft から使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

困ったときは

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。
それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

共 通

電源が入らない。

- 電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

電池の消耗が早い。

- 本機をマンガン乾電池でお使いの場合、使用時間が著しく短くなることがあります。乾電池で使う場合は、アルカリ乾電池をお使いください。

音が出ない。

- 音量を調節する。
- ヘッドホンを（ヘッドホン）端子から抜く。

本体から「ブーン」と小さいノイズ音がする。

- 電源の状況により本体から「ブーン」と小さいノイズ音がする場合がありますが、故障ではありません。

雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用する。

CD

CDが入っているのに「noCD」が表示される。

- 読み取りに問題のあるCDを入れた→CDを取り換える。
- CDが裏返し→文字のある面を手前にする。
- BD（ブルーレイディスク）を入れた→ディスクを取り換える。

CDを入れたときに「00」が点滅する。

- 本機が対応する拡張子やフォーマットのファイルがひとつも記録されていないCDを入れた→CDを取り換える。

CDを入れたときに「Err」と表示される。

- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- CDに傷がある→CDを取り換える。
- CDが裏返し→文字のある面を手前にする。
- DVDなど本機で再生できないディスクを入れた→ディスクを取り換える。
- 読み取りに問題のあるCDを入れた→CDを取り換える。
- CD-R/CD-RWに何も記録されていない→CDを取り換える。

再生が始まらない。

- CDを入れ直してみる。
- CDが裏返し→文字のある面を手前にする。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- レンズに露（水滴）がついている→CDを取り出して電源を切り、CDぶたを開けたまま1時間くらい置く。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）がされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。録音した機器でファイナライズを行ってください。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

レンズ

音が飛ぶ。

- 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- 振動のない場所に置く。
- CDに傷があると、音が飛んだり正常に再生されないことがあります。傷のあるCDは再生しないでください。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音が飛んだり、雑音が入ることがあります。

MP3ファイルやWMAファイルを再生できない。

- ファイル名の拡張子が間違っているか、付いていない。本機が対応する拡張子は、次のとおりです。
  －MP3ファイル：「.mp3」
  －WMAファイル：「.wma」
- オーディオファイルのフォーマットが適切でない。本機はMP3形式（MPEG 1 Audio Layer-3）とWMA形式以外のフォーマットには対応していません。

ラジオ

FM放送の受信時にステレオにならない。

- 本体のモード切換ボタンを押して、STを表示させる。
- ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。

雑音が入る。

- FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。雑音が多いときは、本体のモード切換ボタンを押してSTの表示を消し、モノラル受信に切り換えてください。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。

「お気に入りラジオ局」ボタンを押しても、登録した放送局が受信できない。

- 放送局を登録したあと「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにすると、受信中の放送局で上書き登録されます。

リモコン

リモコンで操作ができない。

- リモコン受光部に向けて操作を行う。（「各部のなまえ」の「リモコン受光部」をご覧ください。）
- リモコンの乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。
- 本体に近づいて操作する。
- リモコンと本体の間の障害物を取り除く。
- 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）を当てない。

保証書とアフターサービス

保証書

●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口（下記）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

型名：ZS-E80

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・050-3754-9577

修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

◆パソコン・スマートフォンから
http://www.sony.co.jp/radio-regi/

二次元コードでスマートフォンからアクセス

製品のご登録についてのお問い合わせ
ソニーマーケティング（株）
My Sony Club お客様窓口
電話：フリーダイヤル 0120-735-106
携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9639
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00
土日祝 9:00 ～ 17:00